

沖縄都市モノレール事業について 視察研修

つくば市もつくばエクスプレスが開業し10年が経ちますが、東京延伸などの要望活動を行っております。沖縄都市モノレールも延伸が決まり2019年の春に開業を目指している。これまでの進捗や課題など実情を担当の方々に伺いご教授頂きました。



モノレール建設費1,100億円(85億円/km)で国補助率50%。
那覇空港一首里間(12.9km)で運行されているゆいレールは、首里駅から先、石嶺、経塚、浦添前田の途中駅を経て、沖縄自動車道と交わる浦添前田3丁目付近の浦西駅に至る延伸ルート工事が実施されている。総事業費は約350億円(インフラ部231億円+インフラ外部(車両など)119億円)で、2019年の開業を目指す。事業主体は、インフラ部分を沖縄県・那覇市・浦添市が、車両などインフラ以外を沖縄都市モノレールが担う。この延伸事業が整うと、沖縄本島を南北に貫く沖縄自動車道とゆいレールがつながり、那覇市内の渋滞緩和を促す「パーク&モノライド」が実現する。

これまで道の駅構想に向けて 実状調査と現地視察



- まくらがの里こが(県内) 2017.4.8
 - 道の駅うつのみや、ろまんちっく村(栃木県) 2017.1.17
 - 道の駅保田小学校(千葉県) 2017.1.16
 - 道の駅きよなん(千葉県) 2017.1.16
 - 道の駅常陸大宮(県内) 2016.8.30
 - 道の駅ひたちおおた(県内) 2016.8.30
 - 道の駅いたこ(県内) 2016.3.30
 - 道の駅はなぞの(埼玉県) 2016.2.2
 - 道の駅富士川楽座(富士川ハイウェイオアシス)(静岡県) 2015.11.4
 - 道の駅奥久慈だいが(県内) 2015.7.27
 - 道の駅ごか(県内) 2015.3.18
- など

筑波ライオンズの 一員として 愛の献血活動の お手伝い



つくば市筑波土地改良区の
副理事長として農地維持に
今後も努力します。

茨城県知事橋本まさるの事務所の
一員として、今後も
県と連携して参ります。

小久保貴史 後援会事務所

後援会事務所：
〒300-4223 茨城県つくば市小田2830
TEL.029-867-5298 mail:info@kokubotakashi.com

「つくばへの思い」をカタチに。
魅力あるつくばへ。



陽春の候、会員の皆様にかかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素は後援会活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年の秋には二期目の地域の代表を公的の場にと会員の皆様には多大なるご支援を頂き目標を成し遂げることが出来たこと深く御礼申し上げます。
『小久保貴史後援会』を発足して早くも5年となります。私達の代表(議員)は、地域の為にスローガンも『心ひとつに耕せつくば』から『つくばに幸せのたねをまこ』と郷土一体となり地域活動を展開しております。今後も政治理念を多くの人に理解して頂き更に大きな輪を目標にして会員の皆様にご支援とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

後援会長 大山 一夫

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。後援会会員の皆様には、日頃よりご指導と鞭撻を賜り心から感謝申し上げます。11月より二期目の議員活動が始まり、皆様の期待と負託に応えるべく『つくばに幸せの種をまこ』のスローガンのもと、今後もまだまだ叶わない地域の課題や要望の解決に向けて努力し、汗を流し活動して参ります。
新たな委員会の所属も決まり、会派自民つくばクラブ・新しい風の代表に就任することになりました。また、3月定例議会では平成29年度の当初予算を全会一致で可決承認したところであります。
皆様からのご意見を今後もお寄せいただき、更につくば市発展の為に日々活動して行くことをお約束してご挨拶と致します。
会員の皆様と共に、つくばの街に幸せの種をまいて参りましょう。

小久保貴史

こくぼ 小久保貴史 たかし

- 都市建設常任委員会 委員長
- 議会運営委員会 委員
- スポーツ対策特別委員会 委員
- つくば市筑波土地改良区 副理事長
- つくば市再生協議会 監事



ブログ
http://blog.goo.ne.jp/odamai-com



Facebook
https://ja-jp.facebook.com/takashi.kokubo1



twitter
https://twitter.com/kokubotakashi?lang=ja



要望と質問

■ 小田城跡歴史ひろば案内所の来場者状況と今後の取り組みについて

小田城の観光案内看板の整備と、人が集まり賑わいのある広場として活用されることを要望。
(駐車場、企画など)

■ 農業対策政策 イネ縞葉枯病の対応と対策について

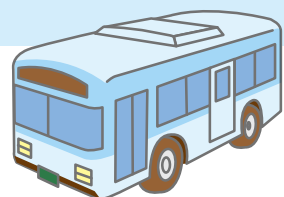
水稻ウイルス性病害であるイネ縞葉枯病が、近年、県内での被害が著しく増加しており緊急の対応と対策が必要。薬剤購入の補助制度の導入を要望。

■ 一般競争入札制度について

現在、入札不調が非常に多く、品質低下や労働条件の悪化が懸念されることや地元企業優先の入札制度へ改正や変更が必要であることを要望。県に準じた入札制度へ要望しました。

■ スクールバス利用料について

秀峰筑波義務教育学校のスクールバスの無料化、バスの補助員の利用負担についても、当初の計画通り無料利用を要望。



■ 小田城、宝篋山ハイキングとの連携

小田城、宝篋山ハイキングとの連携を要望。宝篋山ハイキング観光客が増える一方で、地元の農業者との安全が危惧される、道路など環境の整備を要望。



■ 道路など生活環境の対応

小田橋の修繕工事。地域の道路修繕や改修、拡幅新設工事。排水路整備。

対策と解消・今後の動き



案内板の前で

■ 薬剤による育苗箱処理及び抵抗性品種への作付転換が有効な防除手段であり、県やJAなど各機関との連携強化図ります。

- 「病害虫発生情報」のチラシ配布、市報、ホームページでの周知をしている。
- 薬剤購入の補助制度がスタート。平成29年度に740万円予算化されました。

■ 品質の確保の向上と競争性を保ちながらも、活気ある地域をつくるために、地元企業の育成に努めていくことを約束。今後、制度改革を進める。

■ 国の補助等も活用しながら、**無料化**を進めることを約束。(バス補助員負担も無料)

■ 小田城跡歴史ひろばと宝篋山を連携した観光スポットとするため、駐車場の整備と常陸小田城址フットパスの設定の取り組みがスタートします。

- 平成29年 1,150,000円予算可決

■ 八幡川の改修、道路改修工事排水路整備。



改修された道路にて

※継続案件については、予算化に向け活動しています。

■ 観光案内看板の整備を行う(案内板6ヶ所8枚、説明板2ヶ所、8,748,000円)

ちびっこ博士の指定見学施設、復元整備過程についての企画展、原始時代から現代までの歴史巡りバスツアーなどのイベントを開催します。今後は、地域密着型の催しにも力を入れて参ります。



12月定例議会の内容が新聞に取り上げられました。

★秀峰筑波義務教育学校の開校遅延により、決議文を小久保貴史議員が提出し賛成多数で可決されました。

秀峰筑波義務教育学校の開校に向けて
地域に寄り添い豊かな教育環境づくりを求める決議(案)

秀峰筑波義務教育学校建設工事が遅延する事について、つくば市議会において虚偽答弁により事実を隠蔽した事は許されないことです。

虚偽答弁がきっかけとなり、子供達や保護者、地域住民および学校関係者等に大きな混乱を生み出す結果となりました。

今、大事にされなければならないのは、新たな学校に集う子どもたちです。平成29年度の途中から新校舎に移動する筑波東中学校の生徒達への対応、そして平成30年度に一斉に統合される小学校7校と筑波西中学校の生徒達が安全で安心した実りある学校生活が送れるよう、万全を期さなければなりません。

そのために、市長、教育長をはじめ教育局、市長部局が一丸となって、地域に寄り添い、関係者等との丁寧な対話を積み重ね、課題の解決を進め、子供優先の豊かな教育環境作りに早急に取り組むよう強く求めます。

以上決議する。

★最大会派である自民つくばクラブ・新しい風の代表として、五十嵐市政初の3月予算について会派代表質問で登壇しました。

質問概要は、

- 主要施策と予算概要について
- 重点施策について
- 徹底した行政改革について
- 安心の子育てについて
- 頼れる福祉について
- 便利なインフラについて
- 活気ある地域について
- 誇れるまちについて

今後の課題

いよいよ30年に秀峰筑波義務教育学校の開校に伴って、各小学校が空き校舎となる長い歴史をそれぞれの地域の中心的存在としてきた場所であり、今後どうするかが大変な課題である。つくば市筑波地区の2つの中学校、7つの小学校(山口小学校を含めると8つ)をどうするか。なめがたファーマーズヴィレッジも立派な成功事例と思うが、企業や地域の理解がなければ運営できない可能性もあります。地域一帯で今後について考える一年間にして参りましょう。



今後の活用が課題となる
小田小学校



先進事例



専門書籍